

令和7年度 伊丹市居住支援協議会 会議録

日 時 : 令和8年1月28日(水) 午後2時～午後4時

場 所 : 伊丹市立総合教育センター2階 研修室

出席会員 : 別添のとおり

資 料 : 別添のとおり

概 要 :

- 事務局からの挨拶(伊丹市都市活力部長)、各会員出席者からの自己紹介
- 伊丹市居住支援協議会会則の制定について【資料1】
事務局より伊丹市居住支援協議会会則に関する説明を行い、全会一致で了承を得た。
- 伊丹市居住支援協議会について【資料2】
事務局より、下記の説明を行った。
 - ①住宅確保要配慮者・住宅の現状について
 - ②居住支援、居住支援協議会について
 - ③伊丹市居住支援協議会について
- 各会員からの業務紹介(プロフィールシートにより)【資料3】
各会員から、支援対象者や主な支援内容等について紹介を行った。

【主な意見・発言】

○不動産関係団体 :

- ・残置物処理の負担が家主にいくことが多いため、住宅確保に協力してくれるところが減ってきているのが現状。
- ・入居できたら終了ではなく、入居後の支援も官民で頑張っていく必要がある。
- ・以前に他市からの依頼で、管理物件を作成したが、時間の経過とともに木造賃貸等はほとんど無くなり、若者向けのワンルームマンションに変わってきている。

○福祉事業者団体 :

- ・協議会を通じて、居住支援法人との連携を深めていきたい。

○居住支援団体 :

- ・市からの相談を受けるようになったが、まだまだ居住支援自体が広がっていないと実感している。
- ・元ひきこもりの人やプレシングルマザー、支援者、県外居住支援法人からの相談が多い。

○伊丹市 :

- ・いずれの所属・団体において対象外となった人も、市担当課にて対応できるようにしていきたい。
- ・不動産関係等と今までやり取りがなかったので、これからお互いを詳しく知りたいと思う。
- ・今後は年1回開催予定。成功事例等も共有しながら、行政・各団体が繋がって、サポート体制を作っていきたい。